

農業の新しい技術

No. 563 (平成18年5月)

分類コード 01-07

熊本県農林水産部

いぐさ新品種候補系統「ひのはるか」の特性

農業研究センター い業研究所 育種・栽培研究室
担当者：深浦壯一

研究のねらい

いぐさ製品には海外産品に対抗するため高品質化が求められているが、高品質畳表の原料に現在使用しているいぐさ品種「ひのみどり」は収穫適期が7月上旬に限られるため、それ以後の収穫に適している高品質畳表材料用のいぐさ品種を育成する。

研究の成果

<来歴>

「ひのはるか」は1993年に「熊本3号」を母とし、「広系212002」を父として人工交配し、育成した系統である。

<特性>

1. 先刈時の着花は「岡山3号」より多い(表1 以下同様)。
2. 普通刈105cm以上茎長の長茎乾重は「ひのみどり」より多く「岡山3号」と同程度である。
3. 普通刈120cm以上茎長の乾茎乾重は「ひのみどり」より多い。
4. 長茎乾重率は「ひのみどり」より大きい。
5. 1m乾茎重は「ひのみどり」より重い。
6. 茎の太さは「ひのみどり」より太く、「岡山3号」より細い。
7. 茎の硬さは「岡山3号」より軟らかい。
8. 6月下旬収穫では茎の硬度が不足するが、7月中旬以降では十分な硬度が得られる。
9. 部分変色茎は「岡山3号」より少なく、「ひのみどり」と同程度で極少ない。
10. いぐさ茎300本当たりの製織長は「ひのみどり」より長い。
11. 製織した畳表の品位は「ひのみどり」と同程度に良い。

以上のことから、「ひのはるか」は7月中旬以降収穫の普通刈栽培において、収量性は「ひのみどり」以上であり、畳表の品位は「ひのみどり」と同程度に良く、経済的なブランド畳表の生産が期待される。

普及上の留意点

1. 早刈栽培及び7月上旬刈栽培や多肥栽培等の軟らかさを助長する栽培管理を避ける(図2)。
2. 7月中旬以降収穫の高品質畳表原料用いぐさ品種として約200haの普及面積が期待できる。

[具体的データ]

熊本県農林水産部

表1 「ひのはるか」の特性概要

調査地	い業研究所 (普通刈栽培)			八代市 (普通刈栽培)	
	系統・品種名	ひのはるか	岡山3号 (標準)	ひのみどり (比較)	ひのはるか
茎長 cm	137	134	131	137	130
先刈時花序の多少 観察	中	少	微	---	---
105cm以上茎数 本/株	66	62	63	85	57
120cm以上茎数 本/株	34	28	25	39	20
105cm以上乾茎重 kg/a	66.6	69.1	62.7	76.1	58.8
同上対標準比 %	96	100	91	129	100
120cm以上乾茎重 kg/a	36.7	33.6	28.6	34.6	22.8
同上対標準比 %	109	100	85	152	100
長茎乾重率 %	57	54	46	64	50
1m乾茎重 g/100本	32.6	35.5	31.4	32.7	35.3
茎の太さ mm	1.28	1.35	1.20	1.28	1.33
茎硬度注1) 6月中旬刈 %	---	---	---	49.5	61.6
7月中旬刈 %	63.0	68.2	67.9	65.1	67.1
部分変色茎率注2) %	1.0	34.5	3.3	---	---
製織長注3) cm/300本	11.3	12.9	10.5	10.8	11.3
品位(畳表)注4)	3.7	3.0	3.7	3.5	3.0
調査年度	平成11~17			平成15~17	

注1) 室温20℃相対湿度60%で300gの荷重を10秒間かけたときの茎の太さの変化を調査した数値。(加重後径/加重前径) × 100で算出、105-120cm茎で調査、数値の大きいものが硬い。

注2) 120cm以上の茎での調査値。調査年度は平成15~17年度。

注3) 120cm以上の茎を材料として製織した畳表での調査値。

注4) 観察による5段階評価 1:不良 2:やや不良 3:標準 4:やや良 5:良
120cm以上の茎で製織した畳表の調査値。



左「ひのはるか」 右「岡山3号」
図1 畳表

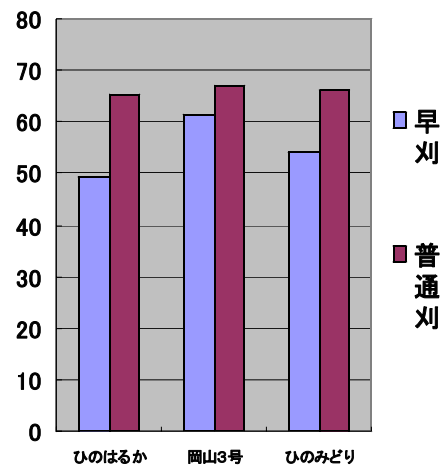


図2 作期別茎硬度 (%)
(作期試験105~120cm茎)